

地域の声を届けるアンケート



～アンケートのご協力のお願い～

各種団体の皆様には、日頃より地域福祉推進について温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私たち“わたげ隊”“ふれあい隊”は、地域の様々な課題を見つけて、何ができるかを協議する地域の話し合いの場として、助け合いや見守り体制、居場所づくりなどその地域ならではの支え合いの仕組みづくりを考えています。

その中で、私たちだけでの協議では地域課題の検討や新しい取り組みの協議が限りあるものになってしまふため、地域で主体的に活動されているみなさまからのご意見(地域で感じる課題や困りごと、望むもの、新しい取り組み案等)をいただきたくアンケート調査を実施することとなりました。ご協力をお願いします。

みなさまからのご意見については、私たち“わたげ隊”“ふれあい隊”が協議してきた内容並びに活動とともに町へ報告する予定となっておりますので、みなさまの【地域の声】を届けさせていただきます。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年12月

わたげ隊・ふれあい隊 一同
生活支援コーディネーター

<調査についてのお願い>

1. この調査は、令和6年12月1日現在の状況について、記入またはあてはまるものの番号に○をつけてください。○の数は、質問ごとに「○は1つ」、「○はいくつでも」とそれぞれ指定していますので、ご注意ください。
2. ご記入が終わりましたら、同封の封筒に入れ、封をして、1月17日(金)までに郵便ポストに投函していただくようお願い致します。
3. データでの回答をご希望の方は社会福祉協議会ホームページよりダウンロードしていただき下記メールアドレスにお送りください。
4. 回答していただいた活動内容について、再度確認をさせていただく場合がございますので、その際は、ご協力をお願い致します。
5. この調査についてのお問い合わせ先

社会福祉法人 吉岡町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 望月雄一・斎藤ひかる
電話:0279(54)3930 FAX:0279(54)3673 Mail:yoshioka.sya@ivory.plala.or.jp

※ 本アンケートは、皆様のお答えはコンピューターにより統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。

団体名 _____

問1 【わたげ隊】・【ふれあい隊】を知っていますか？(一つに○をお願いします)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 【わたげ隊】を知っている | 2 【ふれあい隊】を知っている |
| 3 どちらも知っている | 4 どちらも知らない |

問2 貴団体は、次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 ボランティア団体 | 2 ふれあい・いきいきサロン(子育て) |
| 3 老人クラブ | 4 ふれあい・いきいきサロン(高齢者) |
| 5 その他() | |

問3 主に活動している年齢層を教えてください。(○は多いほうから3つまで)

- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1 20歳未満 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代 | 8 80歳以上 |

問4 貴団体の活動を行ううえで、困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1 運営者(役員)のなり手がいない | 8 活動の広報が十分にできていない、PRの方法がわからない |
| 2 利用者(会員)の確保が難しい | 9 他団体と交流や協力したいがどうしたらよいかわからない |
| 3 活動が停滞している
(主な理由) | 10 行政の理解・協力が得られない |
| 4 財源が乏しい | 11 その他() |
| 5 活動の参考になる情報が得にくい | 12 特にない |
| 6 活動内容を考えるのが難しい | |
| 7 活動(会議等含む)場所の確保が難しい | |

問5 問4で困っていることに回答された団体にお聞きします。困っていることについて、解決策だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 団体や活動についてのPR | 7 他団体とのネットワーク支援 |
| 2 活動上必要な情報の提供 | 8 団体運営上の助言 |
| 3 活動場所の提供 | 9 設備・備品の貸し出し・提供 |
| 4 会員募集の支援 | 10 活動成果の発表の場の提供 |
| 5 リーダーの養成支援 | 11 特にない |
| 6 経済的支援(活動資金など) | |

具体的な解決策がある方はご記入ください。

例)担い手がないので、他団体と繋がって、一緒に活動する

問6 吉岡町のどんなところが地域の課題と感じますか(○は3つまで)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 買い物など日常生活が不便 | 10 交流の場が少ない(同世代・多世代) |
| 2 公共交通が不便 | 11 災害の恐れがある |
| 3 働く場所まで遠い | 12 地域のしきたりや風習が残っている |
| 4 公共施設が充実してない | 13 近所付き合いがしづらい |
| 5 病院や福祉施設が遠い | 14 地域の行事や役など負担が多くて大変 |
| 6 自然環境が悪い | 15 住み慣れない地域である |
| 7 子育て環境が悪い | 16 障がい者への理解が少ない |
| 8 治安が悪い | 17 わからない |
| 9 防災面が不安 | 18 特に必要ない |

問7 地域の課題に対しどのような取り組みが必要だと思いますか(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 交流できる居場所(同世代・多世代) | 5 外出支援活動(通院や外出の付き添いなど) |
| 2 見守り・安否確認 | 6 移動手段活動(住民主体・行政主体) |
| 3 話し相手活動 | 7 その他() |
| 4 生活支援活動(買い物・掃除など) | |

問8 新たに取り組みたい、取り組めそうな活動はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 交流できる居場所(同世代・多世代) | 5 外出支援活動(通院や外出の付き添いなど) |
| 2 見守り・安否確認 | 6 移動手段活動 |
| 3 話し相手活動 | 7 その他() |
| 4 生活支援活動(買い物・掃除など) | 8 取り組みたいが難しい |

問9 地域を取り巻く心配事等は多種多様になり、法制度にもとづく対応には限界があり、地域住民や地域団体みなさまの協力が必要不可欠になりますが、下記について要望などアンケートでは答えられなかつたご意見等がありましたら、教えてください。

① 地域の力で取り組める新しいこと

② 地域の力や協力だけではどうにもならないこと

③ “わたげ隊”“ふれあい隊”への要望など

ご協力ありがとうございました。

【生活支援体制整備事業とは?】

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、高齢者をはじめとするすべての人が地域とのつながりや生きがいを持ちながら暮らしていくため、多様な生活支援や介護予防、社会参加の必要性が増しています。これらの状況を踏まえ平成27年度の介護保険制度改正により、高齢者の多様な日常生活を支える仕組みを充実させること、生きがいや介護予防につながる社会参加の機会を確保することを一体的に推進するために、「生活支援体制整備事業」が創設されました。

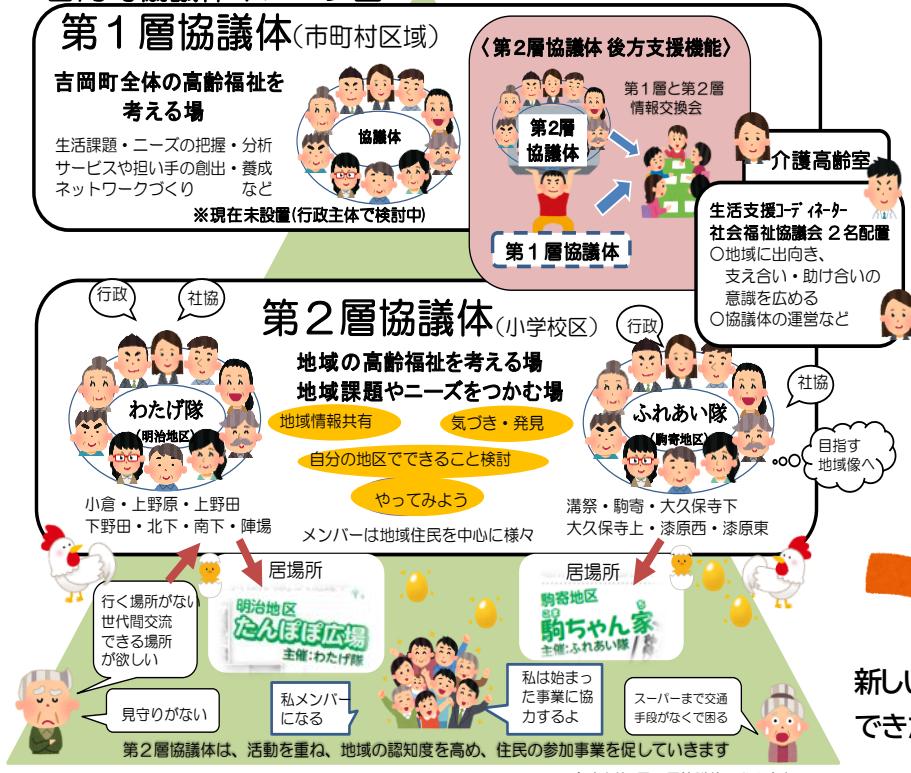
吉岡町の生活支援体制整備事業では、社会福祉協議会に委託し、町内全域(第1層:未設置)、各小学校区域(第2層:設置済)に生活支援コーディネーターを配置し、支えあいの地域づくりについて話し合う協議体を設置しています。

★生活支援コーディネーターとは

高齢者のニーズや地域資源の状況把握、不足するサービス・支援の創出、ボランティア等担い手の発掘・養成、地域住民に対する活動の普及啓発などを実施し、高齢者の生活支援の基盤整備を推進します。

町全域と各小学校区域の兼務で生活支援コーディネーターを2名配置しています。

吉岡町協議体イメージ図



★協議体とは

高齢化が進むにつれて、ひとり暮らしの世帯やちょっとした困りごとを抱える高齢者が増えるなかで、そのような問題やさまざまな地域の課題を見つけて、支え合いの地域づくりの推進、活動団体・社会資源の把握、地域に必要なサービスや活動(社会参加・活動の場・居場所等)の開発・支援等を協議する地域の話し合いの場です。

吉岡町は、第2層協議体として、明治地区に【わたげ隊】、駒寄地区に【ふれあい隊】を設置しています。

新しい居場所、【たんぽぽ広場】と駒ちゃん家】ができる際の、協議体の話し合いイメージ図

